

# 用語の解説

---

---

**【アメニティ施設】**

生活や街なかの空間が、安全、健康的で、便利、快適となるための施設。

**【交通需要マネジメント】**

地域の交通を安全かつ快適なものにするため、地区を面的にとらえ、既存の道路に対し、総合的施策を行うこと。例えば、大型車規制、優先標識などの交通規制や横断歩道、カーブミラー、ガードレールなどの安全施設、すみ切りなどのボトルネック対策を行い、交通安全と交通の円滑化を図るものなど。

**【コミュニティ・ビジネス】**

地域の暮らしを豊かにしたり、事業を通じて社会貢献することを目的とし、市民が地域の課題をビジネスチャンスとしてビジネスの手法で解決してゆくことでコミュニティの再生と地域経済の活性化を同時に達成できる地域づくりの手法。

**【サイバーショップ】**

インターネット上で買い物のできる店。

**【ゼロエミッション】**

生産活動や企業活動の結果、排出される廃棄物をできる限りゼロにして、循環型社会システムを目指そうとする取り組み。

**【地産地消】**

その土地で取れたものをその土地で消費することで、新鮮・安全・安心な地域の産物を、朝市や直売所など消費者と生産者のお互いの顔が見えるかたちで販売し、消費する形態のこと。

**【チャレンジショップ】**

新たに事業や商売を考えている人に家賃補助を行うなど、低廉に提供される店舗のこと。

**【TMO】**

商店街、行政、市民その他の事業者等、様々な主体が参加し、広範な問題を抱える“まち”の運営を総合的に調整・プロデュース（タウンマネジメント）し、中心市街地等の活性化に取り組む機関。

**【デジタルデバイド】**

パソコンやインターネットなどの情報技術を使いこなせる人と使いこなせない人の間に生じる待遇や機会の格差、個人間の格差のこと。

---

#### 【デビットカード】

既存のキャッシュカード（金融機関）を利用して、現金を引き出さずに直接に買い物・支払いができる仕組み。

#### 【テナントミックス】

空き店舗等に対して、商店街に不足している業種の誘致やチャレンジショップ、新規起業家を支援することにより、魅力と活気のある商店街を創造すること。

#### 【ビジネスモデル】

ITを活用し既存のビジネスの手法とは異なった仕組みや手法で行うビジネスの仕組みや手法のことで、ここでは起業家が、どのような商品・サービスをどのような形で提供し、どのようにして収益を得ていくかということ、新たな発想と仕組みで取り組むビジネスのこと。

#### 【プラットフォーム】

もとは駅のホームのことをさすが、東京都の「21世紀商店街づくり振興プラン」では、商店街が地域の生活者や行政、事業者などさまざまな主体を連携する機能のことを指す。

#### 【リサイクル】

一度使用されたものを、再び使用できるように作りかえ、利用すること。

#### 【リユース】

いったん使用された製品を回収し、再度、製品として再利用または再利用可能な部品の利用を図ること。

#### 【ユニバーサルデザイン】

障害者、高齢者、健常者の区別なしに、全ての人を使いやすいように製品、建物、環境などをデザインすること。

#### 【ワークショップ】

街づくり等の計画づくりにおいて、地域に係わる多様な立場の人々が参加して、地域の抱える課題の整理やその解決方策等を検討するために、協力しながら行う共同作業のこと。